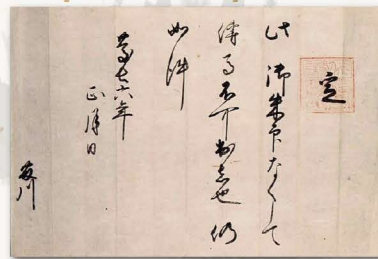


# 藤川宿ご案内



藤川棒鼻ノ図 (歌川広重)



藤川宿駒曳朱印状

定

此 御朱印なくして  
伝馬不可出者也 仍  
如件  
慶長六年  
正月 日  
藤川

- 藤川宿に關わる文化財
- 【愛知県指定】
- 木造阿弥陀如来坐像 (称名寺蔵)
- 藤川の松並木 (天然記念物)
- 【岡崎市指定】
- 藤川宿駒曳朱印状 (慶長六年)
- 藤川宿脇本陣跡 (現資料館)
- 藤川宿高札 六枚 (正徳元年)
- 蔵王権現懸仏 (明星院蔵)
- 那智参詣曼荼羅 (明星院蔵)
- 牛乗山第三紀末波蝕巨礫群 (天然記念物)

お問合せ

岡崎市教育委員会社会教育課  
岡崎市十王町二丁目9番地 TEL : 0564-23-6177

藤川学区社会教育委員会・藤川まちづくり協議会

## 藤川宿資料

### 藤川宿資料館

藤川の中ほど、旧藤川宿脇本陣跡地内にある。平成元年、岡崎市教育委員会が現地に建てた資料館は、かつて東海道五十三次の宿場町として栄えた藤川宿の様子を後世に伝えることを目的として、地元に残された資料を中心に保管、展示している。

館内には、当時の町並みを五百分の一に縮めた「藤川宿街道模型」を中央に据え、岡崎市指定文化財である「高札」(三点)や駒曳朱印状(レプリカ)、旧本陣文書、古図、版画(パネル)、それに地元住民が所有する寺子屋手本、煙管、弁当箱、状箱、日用品などの宿場資料が約六十点ほど展示してある。



脇本陣跡 (藤川宿資料館)

### 藤川の松並木



松並木

藤川宿の西方、字一里山から字北荒古にかけて、長さ約一キロメートルの間に、胸高圍約三メートル、樹高約二十メートルほどのものを含めて、約百本に及ぶクロマツが並ぶ。この間は令和二年八月に愛知県指定天然記念物となっている。

平成十一年、松並木約六百メートルに、地元の白御影石を使った足元灯設置工事が行われ、十四基が設置された。夜になると足元灯が点灯しほのぼのとした味わいを出している。

松並木の保護・維持管理は、市指定天然記念物となった昭和三十八年当初藤川の老人クラブが行っていたが、昭和五十二年より、藤花荘(障害者支援施設)利用者及び職員の協力で熱心に奉仕活動が行われている。

### 芭蕉句碑とむらさき麦

芭蕉句碑は西棒鼻跡の西、十王堂の境内に建っている。その碑には、

「こも三河

むらさき麦の

かきつばた」

と詠まれている。

麦は江戸時代に栽培されていたことはいろいろな書物から知られていたが、いつしか作られなくなり、幻の麦となっていた。

それを平成六年にやっと念願がかない、藤川の地に復活栽培することができた。毎年、五月中旬から下旬にかけて美しいむらさき色の麦が目を楽しませてくれる。

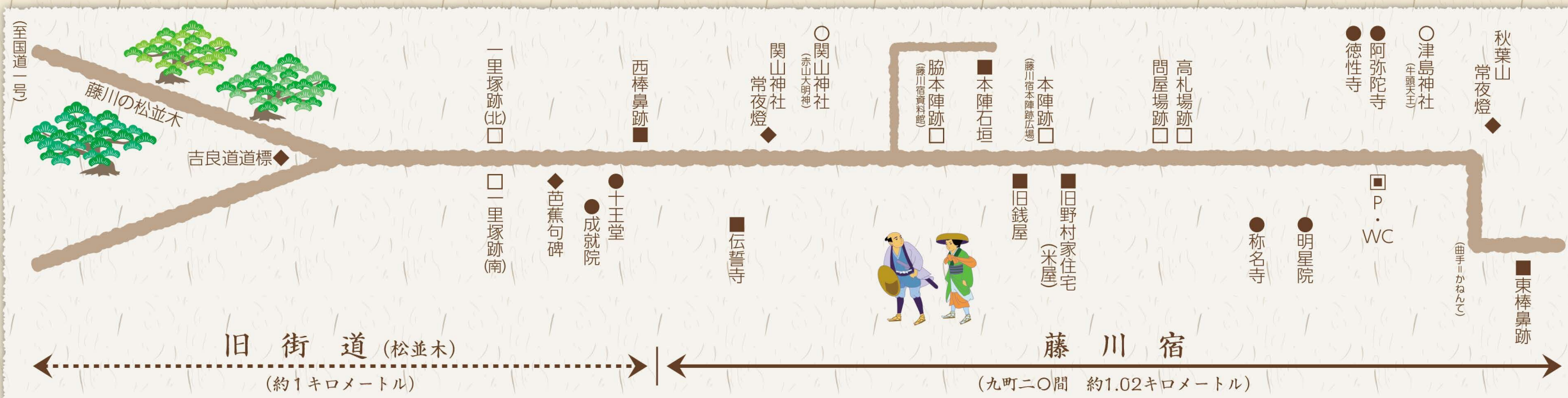


芭蕉句碑



むらさき麦

# 「藤川宿」史跡めぐり



西棒鼻跡



本陣跡 (藤川宿本陣跡広場)



本陣石垣



問屋場跡

◆宿場の役割  
宿場の大きな業務は  
①人馬荷物の継立  
②旅人への宿泊施設の提供  
③飛脚業務遂行であった。  
①と③は「問屋場」が扱い、  
②は旅籠屋が営んでいた。



東棒鼻跡



吉良道道標



一里塚跡



高札 (館内に展示)

◆藤川宿の「高札」  
高札とは、立て札ともいい、法度、掟書などを書いたものである。藤川には当時掲げられていたものが、今も六枚残り、岡崎市指定文化財となっている。その中の三枚が藤川宿資料館に展示されている。



商家 旧銭屋



旧野村家住宅 (米屋)



秋葉山常夜燈



十王堂・成就院



伝誓寺



称名寺



明星院



徳性寺